

リニューアルした「一番搾り」が好評！ 缶商品の9月月間販売数量は前年比約1割増と好調！

キリンビール株式会社（社長 堀口英樹）は、1990年に発売してから35年目を迎えた「キリン一番搾り生ビール（以下、一番搾り）」をリニューアル[※]し、好評をいただいています。缶商品の販売も好調で、9月月間の販売数量は前年比約1割増と推移しており、家庭を中心に楽しまれるお客様からもご支持をいただいています。

さらに、「キリン一番搾り 糖質ゼロ」も9月の販売数量が前年比約1割増と、好調が寄与したことで「一番搾り」ブランドは前年増となり、大変好調に推移しています。

※1 缶商品は6月製造品から、びん・樽商品は7月製造品から順次切り替え

「一番搾り」は、「おいしい好きのすべての人の今日のよろこびになる」ことを目指すブランドです。当社は「一番搾り」のおいしさを通じて、さらにビールカテゴリーの魅力化・活性化を推進していきます。



<「一番搾り」好調要因>

■ より麦のうまみを感じられ、雑味のない進化した味わいが好評

今回のリニューアルでは、ホップ配合と仕込み時の温度の見直しにより、雑味を低減させ、味わいのバランスを向上させました。また、「一番搾り」本来の麦の味わいがより感じられるようになりました。

■ 新タレントを起用した広告によるお客様接点の拡大

7年ぶりに新たなタレントを起用した、大規模な広告展開を行い、TVCM、交通広告などで多くのお客様との接点を拡大しています。なお、TVCM「注ぎ合い」篇（他9作）は、9月度の「酒類ブランドのCM好感度調査」で1位^{※2}となるなど、好評をいただいています。カジュアルな雰囲気、世代を超えて新しい「一番搾り」の味について語らう新コミュニケーションは、今の時代のお客様の共感を得て、「品質感」「親しみやすさ」のイメージ強化につながりました。

※2 CM総合研究所「消費者3000人の月例CM好感度調査・9月度」調査対象期間：8/20～9/19



キリングループは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよろこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します。

記

- | | |
|------------|---|
| 1. 商品名 | 「キリン一番搾り生ビール」 |
| 2. 発売地域 | 全国 |
| 3. 発売日 | 缶：2024年6月製造品より順次切り替え、
びん・樽：2024年7月製造品より順次切り替え |
| 4. 容量・容器 | 135ml・缶、250ml・缶、350ml・缶、500ml・缶、小びん、中びん、大びん、
慶祝ラベル中びん、7L・樽、15L・樽、20L・樽、3L・ペットボトル |
| 5. 価格 | オープン価格 |
| 6. アルコール分 | 5% |
| 7. 純アルコール量 | 350ml缶：14g、500ml缶：20g |
| 8. 製造工場 | キリンビール北海道千歳工場、仙台工場、取手工場、横浜工場、名古屋工場、
滋賀工場、神戸工場、岡山工場、福岡工場 |

以上